

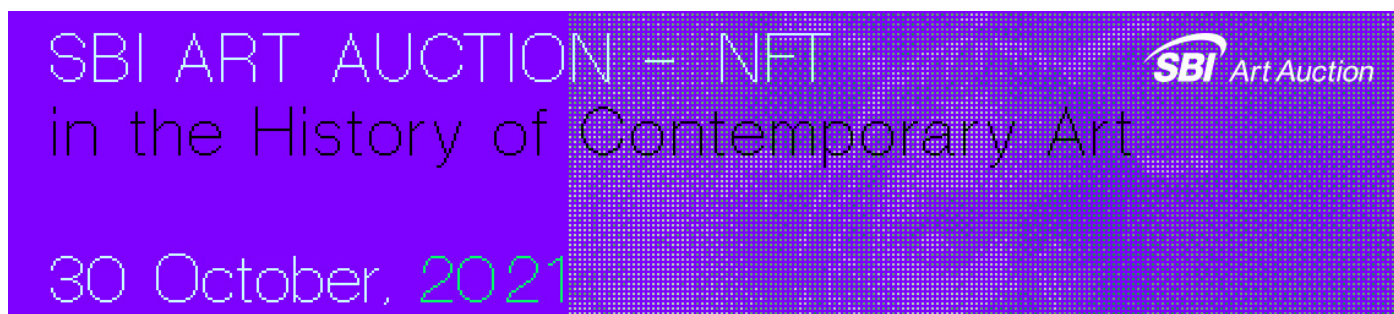
【日本初】 NFT アートオークション

「NFT in the History of Contemporary Art」 開催のご案内

SBI アートオークション株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役：森田俊平）は2021年10月30日に、アートオークションでは日本初となる NFT セールを開催いたします。ゲストキュレーターに、気鋭の文化研究者の山本浩貴氏を迎え、NFT 作品が実現する現代アートの未来について探ります。

NFT（Non-Fungible Token：非代替性トークン）について、2021年3月に75億円で落札された Beeple 以降、現代アート界の反応は落札金額や大御所作家の新しい取り組みに対する報道が中心となっています。

一方 NFT の導入で、映像等デジタルデータ作品の価値づけのための唯一性が担保されるようになり、オンライン上で売買、保管するインフラが整備されつつあります。当社は現在の動向を歴史的事象と捉え、アートオークションという多様な作家が登場する舞台上スポットライトを当てるとともに、文化研究者の山本浩貴氏と共に美術史文脈での位置づけについて探ります。なお作品の NFT 化は、アート作品のブロックチェーン証明書発行等で提携するスタートバーン株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：施井泰平）の協力のもと、アート流通のためのブロックチェーンインフラ「Startrail」を活用して実施し、作品の真正性や信頼性の担保および長期的な価値継承を支えます。



■実施概要：NFT オークション 「NFT in the History of Contemporary Art: a Curated Sale by Hiroki Yamamoto」

【開催日時】2021年10月30日（土）13:00～「Modern and Contemporary Art Vol.47」内にて

【会場】ヒルサイドフォーラム（〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町 18-8 ヒルサイドテラス F 棟 1F）

【下見会】展示期間：10月27日（水）12:00-19:00 | 10月28日（木）11:00-19:00

※オークション当日は会場で実際にオークションがオークションを執り行います。

※ご来場以外にも、電話・書面による事前入札のほか、LIVE で動画配信を見ながら PC やスマートフォンの画面越しにオンラインでご入札参加いただけます。詳細は、下記特設ウェブサイトをご確認ください。

■特別コンテンツ *リンクはこちら：<https://www.sbiartauction.co.jp/sp/20211030/jp/>

登壇者プロフィールは当プレスリリース最下部にございます。

1. トークセッション「長谷川祐子×山本浩貴 ～アートの未来を語る～」
2. 解説「What is NFT Art ?」 by スタートバーン株式会社 CEO 施井泰平

■出品作品（次のページに全8点ご紹介）

*特設ウェブサイトはこちら：<https://www.sbiartauction.co.jp/sp/20211030/jp/>



スプツニ子! (Sputniko!)

《The Moonwalk Machine – Selena's Step》



ケニー・シャクター (Kenny SCHACHTER)

《Money, Money, Money》



ウダム・チャン・グエン

(UuDam Tran NGUYEN)

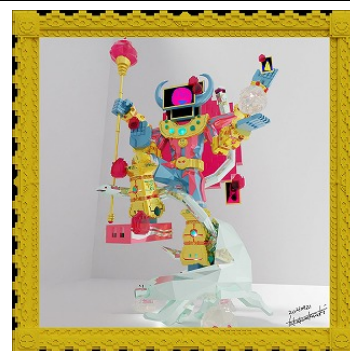
《Waltz of The Machine
Equestrians》



デヴィッド・オライリー

(David OREILLY)

《POTATO》



たかくらかずき

(TAKAKURA Kazuki)

《Goodbye Meaning》



ルー・ヤン (LU Yang)

《1. DOKU Hello World_LY /
2. DOKU HUMAN》



ユウキユキ (Yu-KI YUKI)

《「あなたのために。」》



セワフ・アティファ

(Serwah ATTAFUAH)

《TERRA 2021》

■キュレーター・プロフィール

山本 浩貴 (やまもと・ひろき)

文化研究者、アーティスト。1986年千葉県生まれ。一橋大学社会学部卒業後、ロンドン芸術大学にて修士号・博士号取得。2013~2018年、ロンドン芸術大学トランスナショナルアート研究センター博士研究員。韓国・光州のアジアカルチャーセンター研究員、香港理工大学ポストドクトラルフェロー、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科助教を経て、2021年より金沢美術工芸大学美術工芸学部美術科芸術学専攻講師。著書に『現代美術史 欧米、日本、トランスナショナル』（中央公論新社、2019年）、『トランスナショナルなアジアにおけるメディアと文化 発散と収束』（ラトガース大学出版、2020年）、『レイシズムを考える』（共和国、2021年）など。

■特別コンテンツ・登壇者プロフィール

長谷川 祐子（はせがわ・ゆうこ）

金沢 21 世紀美術館 館長／東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 教授／キュレーター／美術批評。京都大学法学部卒業。東京藝術大学美術研究科修士課程修了。水戸芸術館学芸員、ホイットニー美術館客員キュレーター、世田谷美術館学芸員、金沢 21 世紀美術館学芸課長及び芸術監督、東京都現代美術館学芸課長及び参事を経て、2021 年 4 月から金沢 21 世紀美術館館長。文化庁長官表彰（2020 年）、フランス芸術文化勲章（2015 年）、ブラジル文化勲章（2017 年）受賞。主な国際展に、イスタンブール・ビエンナーレ（2001 年）、上海ビエンナーレ（2002 年）、サン・パウロ・ビエンナーレ（2010 年）、シャルジャ・ビエンナーレ（2013 年）、モスクワ・ビエンナーレ（2017 年）、タイランド・ビエンナーレ（2021 年）など。

施井 泰平（しい・たいへい）

1977 年生まれ。少年期をアメリカで過ごす。東京大学大学院学際情報学府修了。2001 年に多摩美術大学絵画科油画専攻卒業後、美術家として「インターネットの時代のアート」をテーマに制作、現在もギャラリーや美術館で展示を重ねる。2006 年よりスタートバーンを構想、その後日米で特許を取得。大学院在学中に起業し現在に至る。2021 年に株式会社アートビート代表取締役就任。講演やトークイベントにも多数登壇。

お問い合わせ先

SBI アートオークション株式会社 広報担当 塚田・加賀美

〒135-8071 東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル東館 7F

Tel. 03-3527-6692 Fax. 03-3529-0777 Mail. artauction@sbigroup.co.jp

www.sbiartauction.co.jp